自動車事故報告書の記載要領

【重要】
事故報告書は事実に基づき記入してください。事実と異なる記入をされた場合には、虚偽の報告となる場合があります。

報告を提出する時点の国土交通大臣の名前を記入する

事故発生日時、場所及びその時の天候を記入（選択）する
イ．時間は24時間制で記入する
ロ．場所は、地番まで記入する
　高速道路の場合は「上り線」「下り線」の区分と〇〇ｋｐを記入する
ハ．道路名は、国道、県道、市道など具体的に記入する。高速道路の場合は、その名称も記入する。

自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」、「使用の本拠の位置」欄を記入する

記載例
当社〇〇営業所の運転者〇〇〇〇は、平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇〇時〇〇分出社し、始業点呼を受け123号車で〇〇時〇〇分に出庫した。〇〇配送センターにて〇〇を積み、〇〇株式会社へ向けて出車、２回の休憩を経て〇〇時〇〇分頃に当該地点の交差点に差しかかった。右折するため対向車が通り過ぎるのを待って右折を開始したが、横断歩道付近を通り過ぎた時、車体が不自然に揺れたため確認したところ、自転車を後輪で巻き込み転倒させ骨折する負傷を負わせた。

相手方　〇〇〇〇　（〇〇才）　　重傷（両足骨折）

警察、家族、会社等への連絡、死者又は負傷者に取った処置、病院への収容状況、旅客、積荷等の処置を記入する

警察の調書、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入する（なるべく簡潔に、明確に）

事業者（使用者）の事故に対する再発防止についての取組について具体的に記入する

別記様式（第３条関係）　　（表）

自　動　車　事　故　報　告　書

国土交通大臣　　殿

自動車の使用者の氏名又は名称
住　　所
電話番号

年　　月　　日　提出

☆発生日時	年　月　日　時　分	☆路線名又は道路名	道　線
天　候	１晴れ　２曇　３雨　４雪　５霧　６その他		
☆発生場所	都道府県　区市郡　区町村　番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置		☆自動車登録番号又は車両番号	

☆当時の状況

トラクタ、トレーラの場合は２段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラとする

☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）

別紙記載要領に記載例有り（A）

☆当時の処置	
☆事故の原因	
☆再発防止対策	
※備　考	

（日本産業規格Ａ列４番）

事故報告書は３部、その自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局を経由して提出してください。（提出者控えを含めると４部必要です。）

発生した事故の種類の区分番号を○で囲むこと
（２種類以上の事故を併発した場合は、被害又は損害の程度の大きいと思われる方の事故の種類の番号を○で囲むこと）

２種類以上の事故を併発した場合は、その発生順に従い１，２，３等、数字を□の中に記入する

衝突事故の時のみ記入する

トラクタ、トレーラの場合は２段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラとする
（自動車検査証を見て記入する）

運転者、特定自動運行保安員、乗客、車掌等の合計を記入す

道路法で言う道路上での事故の場合は「１道路」とし、車庫・営業所・構内など一般交通の用に供しない場所の場合は「２その他の場所」とする

路肩部分を含む道路（車道と歩道の区分がある場合は、車道）の総幅員を記入する
※歩道は含まない

交差とは、当該自動車の前方３０メートル以内に交差点があった場合である

別紙記載要領に記載例有り（B）

貸切旅客の場合は、運送契約の相手方氏名又は名称、住所、旅行業法の旅行業者の場合はその番号を記入

トラック事業者からの運送の依頼により貨物運送を行った場合には「１」を、それ以外は「２」を○で囲む

（裏）

事故の種類

区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒等	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通傷害	15 その他
☆発生の順															

☆転落の状態　落差　　m　水深　　m

衝突等の状態　1 正面衝突　2 側面衝突　3 追突　4 接触　5 物件衝突

☆車名	☆型式	☆車体の形状	☆初度登録年又は初度検査年

当該自動車の概要

事業用　1 乗合旅客　2 貸切旅客　3 乗用旅客　4 特定旅客　5 一般貨物（イ特別積合せ貨物　ロその他）　6 特定貨物　7 特定第二種

自家用　1 有償貸渡し（レンタカー）　2 有償旅客運送　3 その他

種別　1 普通　2 小型　3 その他

☆乗車定員　人　☆当時の乗車人員　人

☆最大積載量　kg　☆当時の積載量　kg

kg　kg

許可等の必要性			
	制限外許可	1 有	2 無
	特殊車両通行許可	1 有	2 無
	保安基準の緩和	1 有	2 無

許可等の取得状況			
	制限外許可	1 有	2 無
	特殊車両通行許可	1 有	2 無
	保安基準の緩和	1 有	2 無

貨物の内容　1 土砂等　2 長大物品等　3 コンテナ　4 生コンクリート　5 危険物等　6 冷凍、冷蔵品　7 原木、製材　8 引越　9 その他

積載危険物等
- 運搬の有無　1 有　2 無
- 種類　1 危険物　2 火薬類　3 高圧ガス　4 核　5 R I　6 毒劇物　7 可燃物
- ☆品名及び積載量又は放射能の量　品名（　　）kg、（　　）Bq
- イエローカードの携行状況　1 有　2 無

道路等の状況

種類　1 道路（イ高速自動車国道　ロ自動車専用道路等　ハその他）　2 その他の場所

☆道路の幅員　m

こう配　1 平たん　2 上り　3 下り

道路の形態　1 直線　2 右曲り　3 左曲り　4 交差　5 つづら折り

路面の状態　1 乾　2 湿　3 積雪　4 氷結

警戒標識の設置　1 有　2 無　☆当該道路の制限速度　km/h

踏切の状態　1 遮断機付き　2 警報機付き　3 その他

◆営業所及び運行等の状況

☆当時の運行計画　（発地・経由地・着地）

☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等（貸切旅客のみ）

安全性優良事業所の認定（貨物のみ）　1 有　2 無

運送形態　1 下請運送　2 その他

☆何送人の氏名又は名称

☆何受人の氏名又は名称

当時の状況

☆危険認知時の速度　km/h

☆危険認知時の距離　m

☆スリップ距離　m

当該自動車の事故時の走行等の態様　1 直進（加速）　2 直進（減速）　3 直進（定速）　4 後退　5 追越　6 右折　7 左折　8 駐車　9 停車　10 転回　11 合流　12 その他

道路上での事故の場合には事故発生地点　1 車道　2 歩道　3 横断歩道　4 路側帯　5 路肩　6 交差点　7 バス停留所　8 トンネル　9 その他

死傷事故の場合には死傷者の状態　1 左側通行　2 右側通行　3 信号無視　4 車道通行　5 歩道通行　6 横断歩道歩行　7 車の直前横断　8 斜横断　9 飛び出し　10 酩酊　11 路上作業　12 路上遊戯　13 乗降中　14 安全地帯　15 自転車運転　16 その他

車両の故障に起因する場合には故障箇所　1 原動機（速度抑制装置を除く）　2 速度抑制装置　3 動力伝達装置　4 車輪（タイヤを除く）　5 タイヤ　6 車軸　7 操縦装置　8 制動装置　9 緩衝装置　10 燃料装置　11 電気装置　12 車枠及び車体　13 連結装置　14 乗車装置　15 物品積載装置　16 窓ガラス　17 騒音防止装置　18 ばい煙等の発散防止装置　19 灯火装置及び指示装置　20 反射器　21 警音器　22 視野を確保する装置（後写鏡、窓拭き器等）　23 計器（速度計、走行距離計等）　24 消火器　25 内圧容器及びその附属装置　26 自動運行装置　27 運行記録計　28 その他

◆乗員

運転者
- ☆氏名
- ☆年齢　才
- ☆経験年数　年　月
- 自動車の運転を職業とする者にあっては勤務状況
  - 本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
  - ☆事故日以前１ヶ月間に出勤しなかった日数　日
  - ☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離　時間　km
  - ☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計　勤務日数　日　乗務距離　km
- 損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
- シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備
- ☆交替運転者の配置　1 有　2 無（交替後の乗務時間及び乗務距離）　時間　km
- ☆過去３年間の事故の状況　（過去３年間の事故件数）　件（最近の事故年月日）　年　月　日
- ☆過去３年間の道路交通法の違反の状況　（過去３年間の違反件数）　件（最近の違反年月日）　年　月　日
- ☆過去３年間の適性診断の受診状況　1 有　2 無（最近の受診年月日）　年　月　日（適性診断受診場所）
- ☆最近の健康診断の受診年月日　（最近の受診年月日）　年　月　日

特定自動運行保安員
- ☆氏名
- ☆年齢　才
- ☆経験年数　年　月
- 本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
- 損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
- 業務場所の別　1 車両内　2 車両外
- シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備
- ☆最近の健康診断の受診年月日　（最近の受診年月日）　年　月　日

車掌
- 本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
- 損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
- シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備

☆◆運行管理者

	運行管理者	統括運行管理者
氏名		
運行管理者資格者証番号		

☆損害の程度
- ◆死亡　人（うち乗客　人）
- ◆重傷　人（うち乗客　人）
- 軽傷　人（うち乗客　人）

※事業者番号

※再発防止対策

事故時の速度・距離・スリップ距離を警察の事故の実況見分及び運転者等に確認し記載する
なお、客観的事実がわからない場合は「不明」と記載する

「交差点」は、２以上の道路（歩道を除く）の交わる部分（車両停止線のある場合あっては、車両停止線を対向車線に延長した線によって囲まれた道路の部分）とする

死傷事故の場合にのみ記入する

当該事故時に当該自動車を運転していた者について記入する
（イ）「経験年数」とは、当該自動車を運転することができる資格を得たときからの運転経験の期間とする
（ロ）「本務・臨時の別」は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とする

「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗していると否とにかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は「有」とし、それ以外は「無」とする
なお、交替運転者が運転を交替した後に事故があった場合は、当該運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記載する

複数の運行管理者が選任されている場合は、統括運行管理者を記載する

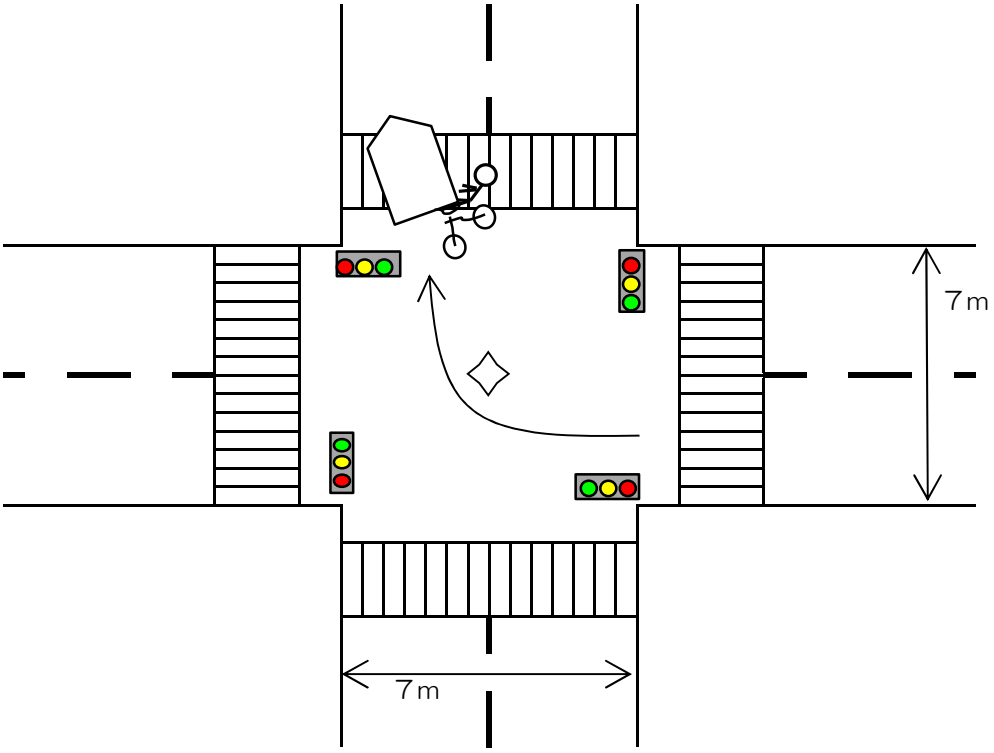
事故について最も責任のあると考えられる運行管理者を記載する

「死亡」とは、当該事故発生後24時間以内に死亡したも

◆印欄は、事故が自動車事故報告規則第２条第11号及び第12号（車両故障）のみに該当する場合には、記入は不要です。

※別紙記載要領

記入例Ａ【（表）面　「現場の略図」】



※　略図の最低記載事項

事故時の自動車、歩行者等の位置関係及び進行方向、歩道、車道（幅員明記のこと）、横断歩道の位置明記、道路標識、一時停止線の位置及び内容明記

記入例Ｂ【（裏）面　「当時の運行計画」】

○○営業所	～○○配送センター～	国道３号線～	○○株式会社 ～国道３号線～
08:30 発	09:20 着		13:00 着
	10:20 発		14:00 発
○○営業所			
16:20 着			